

周南市福川

田舎ガラス店

ちいさなまちのちいさなガラス屋

ガラス
つうしん

月刊 我楽素通信

地域の皆様
いつもご愛顧頂き
有難うございます!



ガラス・サッシに関する豆知識

今月のテーマ

ガラスは誰でも切れる!?

ガラスを切るには、当然ガラス切りを使いますが、その種類には大きく分けて二つあります。

左のダイヤモンドカッター、そして右のオイルカッターです。

左のダイヤモンドカッターは昔からあるタイプなので、ご存じの方も多いでしょう。その名の通り、先にダイヤモンドが埋めこまれていて、それでガラスを切れます。

右のオイルカッターは、先にダイヤモンドではなく、硬い金属のローラーが付いています。柄がプラスチックでできており、中に入れたオイルが切る時に沁み出して来るのが特徴です。

使い方の大きな違いは、ダイヤモンドカッターはあまり力を入れずに使うのに対し、オイルカッターは（ダイヤに比べて）力を入れて使うことでしょうか。そのため、前者は薄いガラス、後者は厚いガラスを切るのにより適しています。

ダイヤモンドカッターは、ヘッドの部分が、台形になっています。そして、その片方の角は鋭角になっています。これは、60度の角度になっていて、この角度で使うようにしなければうまく切れません。つまり、先に付いているダイヤモンドを60度の角度でガラスに当てるということです。また、力を入れ過ぎても、入力なくしては切れないガラス切りです。大体初めての方は、力を入れ過ぎてしまいがちですが、それでは、うまく切れません。60度という角度を切り始めから終わりまで保ちながら、なおかつ力を入れ過ぎないようにするということが難しく、練習しないと切れるようになります。どうしても力を入れ過ぎてしまうのです。そうすると、ガラスは切れずにガラス切りの方が傷んでしまいます。

ですので、はじめての方には、角度も意識せずに、また力を入れても切ることのできるオイルカッターの方が向いていると思います。ガラスを切るところをご覧になると、「よく切れますねえ。」と感心されることが多いですが、どなたでも練習すれば切れるようになります。

但し、寸法を正確に測り、その寸法通り正確に切り、はめ込むという作業はまた別の話ですが、ガラスを切るだけは切れるようになるはずです。もちろん、ホームセンターで売っているもので十分切れます。もしそれが新品なのに切れなかつた場合は、それは貴方の使い方に問題があります（笑）。

ちなみに、先に埋め込んであるダイヤモンドですが、これはもちろん人工ダイヤです。言うまでもないことですが、宝石的価値はありませんので、あしからず。

